

10/24(土)、25(日)千葉県松戸市の国際フェスティバル 「科学と芸術の丘 2026」参加アーティスト&プログラムを 発表！

松戸市民を中心に立ち上げた国際フェスティバル、9年目を迎える今年の全企画を公開



10/24(土)、25(日)に開催する「科学と芸術の丘 2026」の全プログラムが決定しました。

9年目を迎える今年は、戸定邸、松雲亭、戸定が丘歴史公園を会場に、エキシビジョン、ワークショップ、トーク、マルシェを実施します。

開催テーマは「Weaving the Microcosmos - 小宇宙を編む -」。

「小宇宙を編む」という言葉は、微生物や土地の歴史、個人の感覚や記憶、身体に刻まれた経験など、目には見えない無数の断片を丁寧に結び合わせていく営みを表現しています。松戸を起点に、異なる存在がそれぞれの違いや遠さを保ったまま出会い、重なり、変化していく場をひらきます。その先に立ち上がる新たな小宇宙を、私たちはともに編んでいきます。

公式サイト <https://science-art-matsudo.net/>

エキシビジョン

The Garden Experiment — Mens sana in ambiente sano



photo: Julien Gianotti / NCCR Microbiomes

「The Garden Experiment」は、2025年に開始したスイスと日本をつなぐ国際的な市民科学・アートプロジェクトです。市民がそれぞれの庭や畑で土壌実験を行い、健全な土壌や堆肥由来の微生物を移植することで、劣化した土壌の微生物の多様性を回復できるかどうかを調査します。科学的な手法と芸術的な考察、そして市民参加を融合させた本プロジェクト。2025年からの研究の進展を、MISAF 2026において、歴史ある戸定邸および戸定が丘歴史公園を会場に「Mens sana in ambiente sano (健全な心は健全な環境に宿る)」というコンセプトのもと、サイエンスアートの展示とトークとして発表します。

NCCRマイクロバイーム × 産業技術総合研究所 (AIST) バイオものづくり研究センター × 在日スイス大使館 科学技術部 × 科学と芸術の丘 (MISAF Lab)



NCCR Microbiomes

自然界や健康のあらゆる側面における微生物群集の役割をより深く理解することを目的とした、スイス全土に広がる研究ネットワーク。スイス全土から集まった25の研究チームで構成されており、ローザンヌ大学、チューリッヒ工科大学（ETH Zurich）、ローザンヌ連邦工科大学（EPFL）、チューリッヒ大学、ベルン大学、ローザンヌ大学病院（CHUV）が参加し、人間の感染症、動物の腸内および植物のマイクロバイオーム、ゲノミクスおよび計算生物学、応用・環境微生物学、微生物生態学および進化の分野で、国際的に高く評価される専門家を擁している。2020年に設立されたNCCRマイクロバイオームは、スイス国立科学財団（SNSF）の支援を受けている。



産業技術総合研究所（AIST）バイオものづくり研究センター微生物システム創発研究チームは、分子微生物生態学を研究しており、微生物集団の集団的機能、適応、進化を理解するために、細胞の個性に着目。同研究室が属する日本最大級の公的研究機関である産業技術総合研究所（AIST）は、日本の産業界および社会に有用な技術の創出と実用化を目指し、革新的な技術シーズの商業化を「橋渡し」する役割も担っている。



Schweizerische Eidgenossenschaft
Confédération suisse
Confederazione Svizzera
Confederaziun svizra

Embassy of Switzerland in Japan
在日スイス大使館
Science & Technology Office Tokyo
科学技術部

在日スイス大使館・科学技術部

在日スイス大使館・科学技術部は、教育・研究・イノベーション分野において、スイスと日本を結ぶ役割を担っている。大学、研究機関、スタートアップ、スタートアップ支援機関、オープンイノベーションの担い手、政府機関などの多様な関係者をつなぎ、特に好奇心や創造性、活力と柔軟な発想を持つ精神に基づいた取り組みを後押しすることで、知識・アイデア・人材の国際的な連携を推進する。分野や文化の垣根を越えた交流を推進し、スイスの強みを国際的に発信するとともに、革新的な発想や持続的なパートナーシップが生まれる環境を支えている。

Matsudo
International
Science
Art
Festival



科学と芸術の丘

MISAF Lab

「科学と芸術の丘（Matsudo International Science Art Festival: MISAF）」のコアメンバーを中心とする研究開発チーム。バイオロジー、エコロジー、都市計画、社会連携、アート、デザイン、演劇など、分野横断的で多様な専門性を持つメンバーから構成される。アートとサイエンスの幅広いパートナーと協働し、プロジェクトの立ち上げから実装、発表、社会対話に至るまでのプロセスを通じて、国内外の社会

課題に創造的に取り組むとともに、未来社会への貢献を目指す。

《pHeil》、《Circle of pHen》ほか



photo: Whitney Browne

「pHen」は、自宅で3Dプリントして作成できる詰め替え式の描画ツールです。ペン内に封入された果物や野菜由来のインクのpHバランスを調整するという技術により、ユーザー自身が色をカスタマイズできるようにしています。1本のペンで幅広い色を作り出すことができるため、複数のマーカーの用意は不要。本展は、pHen本体の展示をはじめ、自然の色彩の多様性を示す大型テキストスタイルや色相のバリエーションサンプル、自然素材・ツール・作品の循環プロセスを示した、肉眼では捉えきれない自然界を可視化した映像などで構成されます。自然とテクノロジーを交差させ、持続可能なDIYの精神とともに移ろいゆく色の可能性を示します。

pHen ARTIST COLLECTIVE



ノーラ・グーリャ (Nora Gulya)

モホリ＝ナジ芸術大学(MOME)のテキスタイルデザイン修士課程を修了後、pHenの素材研究者として活動。テキスタイル、バイオポリマー、天然染料に焦点を当て、持続可能性とイノベーションを中心とした研究に取り組む。デザイン、科学、イノベーションが交差する領域で、新たな素材や技術、循環型のソリューションを探究し、それらを日常へとつなげることを目指す。



チョンゴル・ボルディジャール・ナジ (Csongor Boldizsár Nagy)

ビジュアルストーリーテリングから没入型のマルチメディア体験まで、幅広く手がけるビジュアルアーティストであり、製作者。モホリ＝ナジ芸術大学(MOME)のメディアデザイン修士課程を修了。高い課題解決能力を持ち、多様なプロジェクトやテクノロジーを巧みに扱いながら、実践を通じた学びを楽しみ、独自の課題に挑戦しながらクリエイティブなプロジェクトを実現する。



ソンヤ・ショモジヴァーリ (Szonja Somogyvári)

コペンハーゲンとブダペストを拠点に活動するグラフィックデザイナー、イラストレーター。実験的かつ持続可能なデザイン、バイオデザイン、2Dアニメーションを専門としている。グラフィックデザインの新たな表現方法を模索し、型にとらわれない素材やサステナブルなコンセプトとイラストレーションを融合させた作品を制作。特にコンセプチュアルなデザインに強い関心を持ち、現在はフリーランスとして、ブックカバーデザイン、イラストレーション、モーションデザインを中心に活動している。モホリ＝ナジ芸術大学(MOME)にて、グラフィックデザインとイラストレーションの学士号を取得。

穴井佑樹《layers》



《layers》は、日常の空間に眠る人々の内なる自然や記憶を、光によって浮かび上がらせるインスタレーション作品です。一本ずつ撚り、幾重にも張り巡らせた糸が、映像を受け止める立体的なスクリーンとなります。投影される映像は、さまざまな土地で撮影された風景や自然の素材をもとに、独自のプログラムによって分解・再構成されたものです。幾重にも重なる糸の上を光が移動することで、映像はほどけ、混ざり合い、色や質感の層として再び現れます。本作は、自然を固定された風景として示すのではなく、場所や時間を越えて蓄積された記憶の層として捉え直す試みです。光、映像、糸の重なりによって、見る人それぞれの感覚や記憶にひらかれた風景を立ち上げます。展示空間に応じて、作品の構成も変化します。



穴井佑樹

1987年大分県生まれ。メディアアーティスト、non-classic株式会社代表。慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科修了。光、音、センシング技術を用い、「自然はメディアである」という考えのもと、自然現象と記憶、時間の関係を探る作品を制作している。雨や水、光、時間の移ろいといった現象を空間体験へと置き換え、見る人それぞれの記憶や感覚を呼び起こすインスタレーションを制作。オーストリアのアルス・エレクトロニカ、ギリシャのアテネ・デジタル・アーツ・フェスティバル、台湾の国立台湾美術館など、国内外で作品を発表。2026年には、大分県立美術館の開館10周年記念作品《時の縁にて》が同館アトリウムに常設設置された。

ラーニングスペース

戸定邸の表座敷棟に、来場者が自由に滞在し、学び、対話できる場をつくります。トークイベントへの参加に加え、これまでの科学と芸術の丘の資料を自由に閲覧したり、展示を鑑賞した後に来場者同士で感想や考えを交わしたりすることができます。作品を「見る」だけでなく、集い、学び、対話することを通して、戸定邸の歴史と現代を生きる人々を新しいかたちで結んでいきます。

ワークショップ

参加方法：要事前予約

Michal Šandor《Moving Landscape: Dancing Neighbours – Movement Workshop》



photo: Nasser Hashemi

「ダンシング・ネイバーズ」は、年齢や経験、背景の異なる人々が、身体の動きを通して出会う参加型のダンスプロジェクトです。コンテンポラリーダンスや即興、ドイツの演劇伝統に根ざした演劇教育の手法を融合させ、歩く、触れる、相手の動きに応えるといったシンプルなワークから、少しずつ参加者同士の関係をつくっていきます。決まった振付を覚えるのではなく、一人ひとりの日

常の身振りや身体の癖も素材にしなが、動きを人から人へと受け渡し、その日、そのメンバーだからこそ生まれる動きを一緒につくります。戸定が丘歴史公園の梅園を舞台に、木々や風、音、人の行き交いにも応答しながら、参加者とその場所がつくる一度きりの「Moving Landscape＝動く風景」を立ち上げます。

※両日とも13:45頃～公開パフォーマンスを開催します。

日程: 10/24(土)・10/25(日)各回10:30～14:30(お昼休憩あり)

会場: 戸定が丘歴史公園 梅園

料金: 1000円 ※科学と芸術の丘のチケットが必要です。

定員: 各回10名

対象: 小学4年生以上 ※ダンスの経験は問いません。

千葉大学大学院園芸学研究院 応用昆虫学 野村昌史研究室《昆虫観察アウトドアワーク ショップ「科学と芸術の丘探検隊」》



photo: Mari Kuzuhara

通路やお庭などを見て回り、戸定邸園内の昆虫たちを探し出す探検隊、今年も結成します。忙しく活動中の昆虫や冬越しの準備をしている虫たちを観察して、今の時期の昆虫たちの姿を浮かび上がらせます。季節を惜しむように活動する種類や、冬を乗り切る準備に忙しい姿を探し出します。身近な場所で小さな自然を一緒に観察しましょう！雨天決行です。

日程: 10/24(土)10:15～11:45 / 14:00～15:30

10/25(日)10:15～11:45 / 14:00～15:30

会場: 戸定が丘歴史公園

料金: 500円 ※科学と芸術の丘のチケットが必要です。

定員: 各回20名

対象：小学生以上 ※小学校低学年以下の方は、保護者さまと一緒にご参加ください。

遅四グランプリ実行委員会《ワイルド遅四駆をつくって自然の中を走らせよう！》



photo: Hajime Kato

遅四グランプリは一番遅いミニ四駆(遅四駆)を決めるレース大会です。今回も昨年に引き続きオフロード仕様のオリジナル・ワイルド遅四駆をつくって自然の中を走らせます！前半は遅四駆づくりのワークショップ。後半は自作のマシンでレースをおこない一番遅いチャンピオンを決めます！重りを付けたりして遅く改造するもよし、コースに障害物を置いて遅くゴールするように工夫するもよし。水戸藩最後の藩主 徳川昭武が隠居後に写真や狩猟などのレクリエーションを楽しんだという戸定が丘歴史公園でみなさんも遅四駆を楽しみましょう！
※つくった遅四駆はお持ち帰りいただけます。

日程：10/24(土)・10/25(日)各回11:00～14:30(お昼休憩あり)

※15:00より遅四グランプリ決定戦を開催します

会場：松雲亭(15:00より戸定が丘歴史公園 梅園にて遅四グランプリ決定戦)

料金：2000円 ※科学と芸術の丘のチケットが必要です。

定員：各回20名

対象：年齢制限なし ※小学校低学年以下の方は、保護者さまと一緒にご参加ください。

あーとえきつぷ《おしゃべり鑑賞会「断片からはじまる小宇宙」》



あーとえきっぷは、2025年3月、東京の美術館で出会った仲間が集まって発足したアート・コミュニケーターの団体です。街へ飛び出し、アートのある場をひらいています。絵画や彫刻、パブリックアートなどを囲み、自由に語り合う対話型鑑賞「おしゃべり鑑賞会」をはじめ、人と人、人と作品をつなぐ活動を行っています。みて、かんじて、はなしながら。それぞれの見方にふれ、新しい発見やおもしろさを広げています。

日程: 10/24(土) 13:00～13:40 / 14:10～14:50

10/25(日) 10:10～10:50 / 12:00～12:40

会場: 戸定邸

料金: 無料 ※科学と芸術の丘のチケットが必要です。

定員: 各回5名

対象: どなたでも

トーク

最新の科学と芸術に触れ、創造性を高めるトークを行います。

会場: 戸定邸

料金: 無料 ※科学と芸術の丘のチケットが必要です。

* 事前予約不要

10/24(土)

11:00～11:15	オープニングトーク 松戸市長 松戸隆政(予定) 科学と芸術の丘 共同ディレクター岩澤哲野 科学と芸術の丘 共同ディレクター海野林太郎
15:30～16:15	スペシャルトーク - Michal Šandor × EU・ジャパンフェスト日本委員会

10/25(日)

11:00～11:45	アーティストトーク - 穴井佑樹
13:00～14:00	スペシャルトーク - PARADISE AIR × 科学と芸術の丘
14:30～15:15	スペシャルトーク - The Garden Experiment

丘のマルシェ < 戸定が丘歴史公園 >



photo: Yoshiaki Suzuki

メイン会場、戸定が丘歴史公園で開催する「丘のマルシェ」ではクリエイティブな発想で活動するカフェやショップが出店。戸定が丘歴史公園奥の美しい梅園でお楽しみいただけます。

日時: 10/24(土) 10:30～16:00

10/25(日) 10:30～15:30

会場: 戸定が丘歴史公園 梅園

参加方法: 事前予約不要

>> 出店者紹介

デイリーレモネード | https://www.instagram.com/dailysurf_jp/

LIVING Coffee and Bagels | https://www.instagram.com/living_coffeeandbagels/

粉穂 | https://www.instagram.com/conaho_/

街と山 | https://www.instagram.com/machitoyama_c/

パンとおやつのマルサン堂 | https://www.instagram.com/marusando_oyatsu/

自然素材yosagena | https://www.instagram.com/yosagena_nagareyama/

季節の焼き菓子Charte | https://www.instagram.com/charte_tarte/

焼き菓子Kōi | <https://www.instagram.com/yakigashi.koi/>

植物と暮らす-Eple- | https://www.instagram.com/eple_orijams/

※出店者は変更になる可能性があります。

チケット情報

戸定邸でのエキシビジョン、トーク、ワークショップにご参加いただけます。ワークショップは、別途参加費・事前予約が必要です。

【料金】

一般：前売1,000円、当日1,500円

高校生・大学生：前売 900円、当日1,400円

松戸市民割(在住/在勤/在学の方)500円 * 要証明書提示

中学生以下：無料

【取扱い】

前売券はPeatixよりご購入ください。当日券は戸定邸入口前【総合受付】にて販売いたします。なお、ワークショップは、Peatixにて10/1(木)より事前予約を開始します。

10/24(土) チケット販売ページ

<https://science-art-matsudo20261024.peatix.com>

10/25(日) チケット販売ページ

<https://science-art-matsudo20261025.peatix.com>

《販売期間》開催日前日の16:30まで

<備考>

* チケットは当日のみ有効

* 原則として、お客様都合によるお申込み後のキャンセルおよび返金はお受けしておりません。

* チケット代金以外の手数料等は返金対象とはなりませんのでご了承ください。

開催概要

科学と芸術の丘2026

会期：2026年10月24日(土) 10:00 ～ 16:30、25日(日) 10:00 ～ 16:00

会場：千葉県松戸市(戸定邸、松雲亭、戸定が丘歴史公園、松戸市内各所)

主催：松戸市、科学と芸術の丘実行委員会

企画運営：科学と芸術の丘実行委員会

パートナー：在日スイス大使館・科学技術部、NCCRマイクロバイオーム、国立研究開発法人 産業技術総合研究所 バイオものづくり研究センター 微生物システム創発研究チーム

協力：千葉大学園芸学部 応用昆虫学野村研究室、遅四グランプリ実行委員会、あーとえきっぷ、戸定祭実行委員会、松戸アートピクニック実行委員会

プロジェクト助成：サカエ・シュトゥンツィ基金、公益財団法人 花王芸術・科学財団、EU・ジャパンフェスト日本委員会

協賛:株式会社生物技研、株式会社ビーテック、株式会社むかしの堆肥、株式会社アトレ、京葉ガス株式会社、マブチモーター株式会社、プラーレ松戸、KITE MITE MATSUDO、株式会社千葉銀行、株式会社千葉興業銀行、東京ベイ信用金庫

ツアーサポート:松戸シティガイド

後援:JOBANアートライン協議会、松戸商工会議所、一般社団法人松戸市観光協会、公益財団法人松戸市文化振興財団、公益財団法人松戸市国際交流協会、松戸市教育委員会

助成:令和8年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

※内容は予告なく変更する場合があります。

メディアの皆様向けプレスツアーを開催

開催に先駆け、メディアの皆様向けにメイン会場にてプレスツアーを実施します。出展アーティストへの直接のご取材も可能です。

日時:2026年10月23日(金) 14:00～15:30

会場:戸定邸・戸定が丘歴史公園

参加方法:以下よりお申し込みください。

<https://forms.gle/BUgmj96pCy2NpHZ97>